

「阿呆理詰日記 1599」 2006/1/1

自信を持つのではないか。とりわけ、自信を失うべき時機を見きわめる力について。

「阿呆理詰日記 1600」 2006/1/2

自信を奪われたのか自信を失ったのか自信を捨てたのかを区別する自信について。
自信が湧いたのか自信を掴んだのか自信を与えられたのかを識別する自信について。
恵まれた自信と委託された自信と押しつけられた自信を選別する自信について。

「阿呆理詰日記 1601」 2006/1/3

安易な策を求めてはならぬ。ただしそれでうまくゆくなら逃しぢやならぬ。
安易に逃しぢやならぬ。

「阿呆理詰日記 1602」 2006/1/4

容易な道を選ぶは安易。容易な道を捨てるはもっと安易。

「阿呆理詰日記 1603」 2006/1/5

賢明な道を見出すは困難。困難な道を選ぶは勇敢。勇敢な道を辿らざるをえないは愚か。
愚かな道を進みうるは有能。

「阿呆理詰日記 1604」 2006/1/6

作為と恣意とは、作為的に混同され、恣意的に区別されてきた。

「阿呆理詰日記 1605」 2006/1/7

動物を生ける機械と見る人と、機械を死せる動物と見る人と。
人間を考える動物と見る人と、動物を考えぬ人間と見る人と。
機械を精密な人間と見る人と、人間を自由な機械と見る人と。
そんな人を人とも思わぬ人と、そんな人も人だと思ふ人と。

そんな・人を人とも思わぬ・人と、そんな・人も人だと思ふ・人と。
そんな人を・人とも思わぬ・人と、そんな人も・人だと思ふ・人と。

「阿呆理詰日記 1606」 2006/1/8

不道德だ、との批判は、道德が正しいと決めつけてる。
道德は間違ってる、との批判は、道德には従うべきだと決めつけてる。
道德に従うのは間違ってる、との批判は、間違いは悪いと決めつけてる。
という批判は、決めつけるのは悪いと
いう批判は、悪いのはいかんと
いう批判は、いかんのは批判に値すると
いう批判は、批判はよいと
いう

「阿呆理詰日記 1607」 2006/1/9

策に溺れるのは無策ゆえ。理に落ちるのは非理ゆえ。才に走るのは凡才ゆえ。勢いあまるのは勢いが足りぬゆえ。

「阿呆理詰日記 1608」 2006/1/10

すべての偏見は、粒あん派＝抹茶派、こしあん派＝煎茶派でしよ的〈印象〉にもとづいている。
つまり、あながち根拠がないわけではない。

「阿呆理詰日記 1609」 2006/1/11

望みを捨てずに欲を捨てること。
望みを捨てても望みに捨てられないこと。
望みに見捨てられても欲にしがみつくと。

「阿呆理詰日記 1610」 2006/1/12

ペンは剣よりも強しだなんてとんでもない。
「ペンは剣よりも強し」は「剣はペンよりも強し」よりも確かに強いが。

「阿呆理詰日記 1611」 2006/1/13

理由のない差別は不道德。
理由にかこつけた差別は非道德。
理由あろうがなかろうが差別は反道德。
理由あろうがなかろうがの差別は無道德。
理由ないがゆえ無差別は未道德。
理由あるにもかかわらず無差別は偽道德。
理由あるから無差別は空道德。
差別のための無差別は仮道德。
無差別の差別は虚道德。
差別をいいことに徳を説くは贗道德。
無差別に徳を説くは屑道德。
差別も無差別も徳のためは駄道德。
徳の名のもとに差別は外道德。
徳の名にもかかわらず差別は亜道德。
差別も無差別もは脱道德。
などと信じ込むのは負道德。
くらしいところが凡道德。

「阿呆理詰日記1612」 2006/1/14

「ふと」と「つい」を混同するから、ふと間違える。つい立ち止まる。

「阿呆理詰日記 1613」 2006/1/15

理由のない差別は放っておけ。
なんとかせにゃならんのは、理由をなくす差別。
差別をなくす理由なんか求めてもムダ。
なんとしても欲しいのは、差別しない理由。

「阿呆理詰日記 1614」 2006/1/16

幸福は不幸からの回復。
不幸は幸福からの覚醒。

「阿呆理詰日記 1615」 2006/1/17

博愛は偏愛からの（ ）。
偏愛は博愛からの（ ）。
回復・覚醒どっち。

「阿呆理詰日記 1616」 2006/1/18

人間界の戦争も差別も犯罪も、動物的には自然だが、動物学的にはきわめて不自然である。

「阿呆理詰日記 1617」 2006/1/19

芸術家に5種。芸術と認められたから芸術という人／芸術と認められるまでが芸術という人／

芸術と認められるために芸術という人／芸術と認められなくても芸術という人／人と認められなくても芸術という人

「阿呆理詰日記 1618」 2006/1/20

もちろん芸術にも5種。芸術家のための芸術／芸術のための芸術／世のため人のための芸術／神のための芸術／〈ための〉を否定するための芸術。

「阿呆理詰日記 1619」 2006/1/21

最も大それた望みは、やっていけるだけの最小限があればという望み。
最もささやかな望みは、やっていくために最大限とらねばという望み。

「阿呆理詰日記 1620」 2006/1/22

疑り深いやつほど、信じやすいことを信じられないときに信じる。
信じやすいやつほど、信じられないことを信じるべきときに迷う。

「阿呆理詰日記 1621」 2006/1/23

疑うべきときに惑い、信じるべきときに酔う。
戯れるべきときに欺き、闘うべきときに暴れる。
折れるべきときに沈み、叫ぶべきときに喚く。
しぼるべきときにしぶる。べきときにぶる。

「阿呆理詰日記 1622」 2006/1/24

有能を装えれば有能だが、装いが有能でも有能とはかぎらない。
無能を装えれば有能だが、装いが無能ならばまさに無能。

「阿呆理詰日記 1623」 2006/1/25

目立つのが得。ただし目立たないように目立つこと。
目立つのは得。ただし目立ってることが目立たぬように。
目立っては損。目立たないように目立つのなら別だが。
(このうち最も目立つパターンを)

「阿呆理詰日記 1624」 2006/1/26

謙遜こそ悪徳の根源？
「捕虜を虐待したですって？ 市民を虐殺したですって？ めっそもない。私ら日本人って、弱い民族なんですから。とてもそんな大それたこと。そんな大掛かりに人さまを傷つけるなんて真似、とてもとても。買いかぶられちゃ照れるじゃありませんか。そんな虐殺なんて事実ないですから。私ら弱いんです、ホント弱いんすヨ私ら」。

「阿呆理詰日記 1625」 2006/1/27

金で買えないものはない。「金で買えないものがある」という洞察を除いて。

「阿呆理詰日記 1626」 2006/1/28

戦争に強いお国柄を誇るのはけっこうだが、戦争を賛美してはいけない。
戦争に反対するのはけっこうだが、戦争に弱いお国柄を誇ってはいけない。

「阿呆理詰日記 1627」 2006/1/29

金で買えないものはない。
「買う」の意味を少し拵げさえすれば。
いや、金で買えないものはない。
「買う」の意味を文字通りにとりさえすれば。

「阿呆理詰日記 1628」 2006/1/30

愛が勝つとはかぎらないが、少なくとも愛は好まれる。
力は好まれるとはかぎらないが、少なくとも力は勝つ。
勝つとはかぎらないし、好まれるともかぎらない。それが正義の悲哀。

「阿呆理詰日記 1629」 2006/1/31

金で買えないものはごまんとある。
金以外で初めて買えるものは一つもないのだが。

「阿呆理詰日記 1630」 2006/2/2

金で買えないものはない。金で買えない場合があるだけだ。
金で買えないものはない。下手な買い方があるだけだ。

金で買えないものはあるかもしれない。けれど、金で売れないものはないだろう。

「阿呆理詰日記 1631」 2006/2/2

金で買えないほど貴重なものはない。
金で買えないほどくだらんものはいくらでもあるが。

「阿呆理詰日記 1632」 2006/2/3

金で買えないものはいくらでもある。
手に入れる方法はただひとつ。倍の金額を提示すること。

「阿呆理詰日記 1633」 2006/2/4

♪す〇こしだけや〇さ〇しく〇し〇て〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇に入る字は？ ほしい を入れるか あげる を入れるかによって
当人の △△ がわかると思い込むほどー

△△に入る字は？ 性格 を入れるか 境遇 を入れるかによって
当人の □□ がわかると思い込むほどー

ーに入る字は？ ナイーブな を入れるか ひねくれた を入れるかによって当人の

適応度が 懐具合が 愛情充足度が 自己顕示欲が 迎合度が I Qが

「阿呆理詰日記 1634」 2006/2/5

最も多い敗因は、まれな勝利の栄光にこだわること。
最も大きな敗因は、小さな勝因にとられること。
最も確かな敗因は、あやふやな勝因にたよること。

「阿呆理詰日記 1635」 2006/2/6

モードに入るほどモードを壊すものはないな。
ムード優先モードほどモード尊重ムードを台無しにするものはないな。

「阿呆理詰日記 1636」 2006/2/7

得する秘訣。利する秘策。
非対称に敏くあること。
たとえば……

「阿呆理詰日記 1637」 2006/2/8

相手にとっては重要な、こちらにとっては瑣末な、そんな譲歩をするチャンスを決して逃さないこと。

「阿呆理詰日記 1638」 2006/2/9

モードにうんざりなのは、ムードを壊しまくるから。
モードにうんざりなのは、モードを強めまくるから。

「阿呆理詰日記 1639」 2006/2/10

貧乏の最大の災難は、自分を心底肯定しても信じてもらえないこと。かりにも否定しようものなら心底信じられてしまうこと。

「阿呆理詰日記 1640」 2006/2/11

何もしないのに、女の人って好きだよ、こういう科白。「男の人って好きだよ、こういう科白。何もしないから」

「阿呆理詰日記 1641」 2006/2/12

何をされても、男の人って好きだよ、こういう科白。「女の人って好きだよ、こういう科白。何でもしますから」

「阿呆理詰日記 1642」 2006/2/13

互いに信用してないから紛糾する。
せめて信用されてないと信じあえれば円滑なのだが。
信用されてるのではとの疑いが兆すものゆえ。

「阿呆理詰日記 1643」 2006/2/14

辻褄合わせと帳尻合わせを取り違えてるやつばかり。ウソと計算ミスを重ねてたまたま辻褄の合った証言だらけゆえ。二重請求と請求漏れを重ねて偶然帳尻の合った経営ばかりゆえ。

「阿呆理詰日記 1644」 2006/2/15

いちばんきつい条件は、無条件という条件。
いちばんきびしい締切は、無期限という締切。
いちばんさし迫った用件は、さし迫らないようにする用心。

「阿呆理詰日記 1645」 2006/2/16

金で買えないものはきわめて多い。そう—
愛で得られないものの千分の一ほどにも及ぶか。

「阿呆理詰日記 1646」 2006/2/17

永遠の愛は、確かにある。
あると信じられさえすればだが。

「阿呆理詰日記 1647」 2006/2/18

永遠の愛は茶番。永遠を愛せなければ。
永遠の愛は地獄。永遠を愛さねばならぬなら。

「阿呆理詰日記 1648」 2006/2/19

行ないは2種類しかないのかも。

やるふりをしただけでやったことになるもの。
やりすぎないとやったことにならないもの。

「阿呆理詰日記 1649」 2006/2/20

やるふりと、やりかけを混同するから、やりすぎることになるのだ。
やりそこねと、やりそびれを混同するから、やりかねなかったで終わるのだ。

「阿呆理詰日記 1650」 2006/2/21

やりくたびれたからといって、やりすぎとはかぎらない。
やりあきたからといって、やりたりたとはかぎらない。

「阿呆理詰日記 1651」 2006/2/22

極度にきびしい環境に耐えられる人がいる。不思議だ。
極度に不安定な環境に耐えられる人はいない。これも不思議だ。

極端な不幸をも乗り越えられる人がいる。驚き。
極端な不確実を乗り越えられる人はいない。これも驚き。

「阿呆理詰日記 1652」 2006/2/23

人生、ほんと短い。そう気づくことができるほど長い。
人生、ほんとはかない。そう気づかざるをえないほどごっつい。

人生、ほんと予期できぬことばかり。そう気づかざるをえないほど単調な繰り返し。

「阿呆理詰日記 1653」 2006/2/24

オチのないジョークこそ、最低のジョーク。
オチのないジョークこそ、最高のオチ。

「阿呆理詰日記 1654」 2006/2/25

(笑える)(ジョーク)と(笑えない)(ジョーク)の違いは、
語られたことが(笑える)か、語られたということが(笑える)かの違い。

「阿呆理詰日記 1655」 2006/2/26

「どこが重要かわからないが、とにかく重要」という理解が、概して、最も的外れ。
「どこがダメかはっきりしないが、とにかくダメ」という判断が、概して、最も的確。

「阿呆理詰日記 1656」 2006/2/27

「親身になる」という言葉はひとごとだからこそ言える。
「心のもった」という言葉は心のもらぬ決まり文句だからこそ言える。
どれが最も実感できるだろう。(次のも合わせて三つの文のうち)
「実感できる」という言葉は実感から遠いあいだけ言うことができる。

「阿呆理詰日記 1657」 2006/2/28

人の身になって考えよう。
いやそれより、
「人の身になって考えよう」という言葉の身になって考えよう。

「阿呆理詰日記 1658」 2006/3/1

人の身になって考えよう。
とくに、
人の身になって考えられない人の身になって考えよう。

「阿呆理詰日記 1659」 2006/3/2

実感を妨げる最大の障害は、実際に感じてしまうこと。

「阿呆理詰日記 1660」 2006/3/3

見せず見たい。聞かせず聞きたい。
見られず見たい。聞かず聞かせたい。
見られず見せたい。聞かれず聞かせたい。
そんな欲望ばかり。

「阿呆理詰日記 1661」 2006/3/4

誤解はほとんどすべて、聞いたことではなく聞きたかったことが聞こえるから。いやそれ以上に、言いたかったことではなく言ったことが聞かれてしまうから。

「阿呆理詰日記 1662」 2006/3/5

いちばんいいアイデアを思いつくのっていつ？
うっかり本を持たずに電車に乗ったとき。

「阿呆理詰日記 1663」 2006/3/6

愛のために論理を犠牲にできるようにでなければ、愛を論じることはできない。
論理のために情緒を無視できるようにでなければ、論理を愛することはできない。

「阿呆理詰日記 1664」 2006/3/7

努力は大切だが、よく考えてから。報われてしまうかもしれないのだよ。
考えるのは大切だが、向きを確かめてから。答えに辿り着いてしまうかもしれないのだよ。

「阿呆理詰日記 1665」 2006/3/10

神秘を科学で解明するなんて絶対無理。科学が神秘的なのだから。

「阿呆理詰日記 1666」 2006/3/10

奇跡を論理で納得する必要なんてなし。論理が奇跡なのだから。

「阿呆理詰日記 1667」 2006/3/10

本能を理性で抑えようとしたって無駄。理性が最大の本能なのだから。

「阿呆理詰日記 1668」 2006/3/11

竜頭蛇尾と羊頭狗肉を混同するところにすべての哲学的問題が生ずる。
(……タイプの混同ってことですか。OK?)

「阿呆理詰日記 1669」 2006/3/12

信念に生きる者は信念を生かせない。
信念のために死ぬる者だけが信念に殺されずにすむ。

「阿呆理詰日記 1670」 2006/3/13

議論の嫌いな人はすぐわかる。すぐ勝ってしまおうとするから。

「阿呆理詰日記 1671」 2006/3/14

自分を一応知るには、他人にどう理解されているかを知ること。
自分を本当に知るには、他人にどう誤解されているかを知ること。

「阿呆理詰日記 1672」 2006/3/15

戦争がもたらす最悪の災いは、なにごととも善悪で割り切りたくさせること。
戦争がもたらす最大の教訓は、なにごととも力で割り切れると知らしめること。

「阿呆理詰日記 1673」 2006/3/16

この世がSFであることに気づかない人ほど、SFを楽しめる。

「阿呆理詰日記 1674」 2006/3/17

この世に生命と意識とおまけに科学なんてものまであった日にゃ、私ら今さらどんな魔法に出くわしてもすぐ慣れるだろう。

「阿呆理詰日記 1675」 2006/3/18

論理とは、非論理に驚きつづけること。
非論理とは、論理に慣れきってしまうこと。

「阿呆理詰日記 1676」 2006/3/19

知らないほうがよかった……。

けど、「知らないほうがよかった」と知ってよかった……。

「阿呆理詰日記 1677」 2006/3/20

逃げたら負けさ。
逃げおおせたら勝ちさ。
逃げおおせたつきりじゃ負けさ。
逃げおおせたつきりですめば勝ちさ。

「阿呆理詰日記 1678」 2006/3/21

逃げるが勝ちさ。
逃げたつきりじゃ負けさ。
逃げたつきりですみや勝ちさ。
逃げたつきりですんだつきりじゃ負けさ。
予想通りだったとしても勝ちとはかぎらんさ。

「阿呆理詰日記 1679」 2006/3/22

信じつづけるより、さっさと殉教するのがラク。
疑いはじめるより、もちろん殉教するのがラクだってば。

「阿呆理詰日記 1680」 2006/3/23

神を信じるのと、神秘を信じるのと、どっちか片っぼだけにしておきなさい。

「阿呆理詰日記 1681」 2006/3/24

本当に席を譲りたいなら、「どうぞ」などにこやかに語りかけたりせず、黙って去れ。

「阿呆理詰日記 1682」 2006/3/25

本当の自由は、自由が与えられたとは気づかない人にだけ与えられる。

「阿呆理詰日記 1683」 2006/3/26

いちばん人を傷つけるのは、自分がいかに傷ついたかを悪意なくアピールしてしまう人。

「阿呆理詰日記 1684」 2006/3/27

成功していたらどうなったのかがわかるような、せめてそんな失敗をしてくれ。

「阿呆理詰日記 1685」 2006/3/28

侵略の理由が正しいことはありうるが、侵略が正しい理由はありえない。

「阿呆理詰日記 1686」 2006/3/29

カリスマに3種。信奉者多くして追隨者なし。追隨者多くして信奉者なし。信奉者と追隨者多くして本人なし。

「阿呆理詰日記 1687」 2006/3/30

論理で愛や美を解明できないのは、愛や美よりも論理のほうが解明さるべき複雑さに満ちているからである。

「阿呆理詰日記 1688」 2006/3/31

最もうまくやれるのは、未経験済みの仕事。
最も信用できるのは、未確認済みの約束。

「阿呆理詰日記 1689」 2006/4/1

「しょせん」と「どうせ」と「やっぱり」を「とりあえず」混ぜてゆくこと。そこにだけ「まさか！」が生まれたりする。もちろん。

「よもや」と「ひょっとして」と「けっして」を「いちかばちか」合わせてゆくこと。そこにこそ「なるほど」が灯ったりする。くしくも。

「阿呆理詰日記 1690」 2006/4/2

ホロコーストを否定する〇〇〇〇も、無差別爆撃は必要だったと主張する△△△△も、何某大虐殺は無かったと言い張る□□□も、非人道的だと思われたくないという人道を持ち合わせている。

非人道的だと思われることこそが非人道、という人道を持ち合わせている。

「阿呆理詰日記 1691」 2006/4/3

命を賭け、命を捧げる第一歩は、命を賭けることと命を捧げることは全然別だと理解すること。

「阿呆理詰日記 1692」 2006/4/4

命を賭け or 捧げる第一歩は、命を賭けることと捧げることは同じだと思い込むこと。

命を賭け and 捧げる第一歩は、命を賭けることと捧げることは全然別だと理解すること。

「阿呆理詰日記 1693」 2006/4/5

半信半疑ならようやく信じられるものがある。

半信半疑ならようやく疑えるものもある。

完全に信じきって初めて半分疑えるものもある。

「阿呆理詰日記 1694」 2006/4/6

嫉妬は、女にとっては諦めへの挑戦。男にとっては挑戦への諦め。

「阿呆理詰日記 1695」 2006/4/7

嫉妬深い 女／男 は最強。

嫉妬している 女／男 は最弱。

「阿呆理詰日記 1696」 2006/4/8

チャンスが尽きた瞬間が最大のチャンス。

などと不用意なことを言われた今この瞬間が最大のチャンス。

「阿呆理詰日記 1697」 2006/4/9

信じる心を確かめるには、何から何まで疑おうと試みること。

疑う力を養うには、完全に隈なく信じようと努めること。

「阿呆理詰日記 1698」 2006/4/10

必要な贅沢か、贅沢な必要か。

必要って贅沢か、贅沢って必要か。

「阿呆理詰日記 1699」 2006/4/11

愛かどうかあいまいということはある。

あいまいな愛というものはない。

「阿呆理詰日記 1700」 2006/4/12

愛かどうかあいまいということはきわめて多い。
だから、あいまいな愛というものはきわめて少ない。

「阿呆理詰日記 1701」 2006/4/13

疑う力を養うには、疑心が忍び込む隙を与えること。
信念を培うには、信心が漏れ出る裂け目を放っておくこと。

←1697

「阿呆理詰日記 1702」 2006/4/14

▽は愛がすべてを解決すると信じ、△は解決により愛が生ずると信じる。

「阿呆理詰日記 1703」 2006/4/15

いちばんよく見ているのは、見て見ぬふりをしてる人。

「阿呆理詰日記 1704」 2006/4/16

いちばん見て見ぬふりをしているのは、見て見るふりをしてる人。

「阿呆理詰日記 1705」 2006/4/17

いちばん恐ろしいのは何事も、プロローグとエピローグがそっくりだということ。

「阿呆理詰日記 1706」 2006/4/19

手軽な方法だからって気軽に試さないで。
手軽な方法だからこそ気軽に試さないで。

「阿呆理詰日記 1707」 2006/4/19

この世のやるせなさは、複雑さゆえではなく、単純さゆえ。

ex. 小さな不幸に見舞われやすい人ほど、大きな不幸にも襲われやすい。
大きな幸福を獲得しやすい人ほど、小さな幸福にも恵まれやすい。

「阿呆理詰日記 1708」 2006/4/20

神を信じて得られるものは何もない。「神を信じて得られるものは何もない」という教訓以外には。

「阿呆理詰日記 1709」 2006/4/20

「神を信じても何の足しにもならない」と悟れなければ、神を信じても何の足しにもならない。

「阿呆理詰日記 1710」 2006/4/22

愛が絶対必要だとわかるのは、なんとか愛なしでやっつけていける間だけ。
愛は必ずしも要らないとわかるのは、愛に頼りきっている間だけ。

「阿呆理詰日記 1711」 2006/4/23

理由なし、というのがよい理由であることは決してない。
理由なし、というのが唯一の理由であることはしょっちゅうだ。

「阿呆理詰日記 1712」 2006/4/24

美は、趣味の問題。
本当に趣味の問題かどうかは、論理の問題。
本当に論理の問題かどうかは、趣味の問題。

「阿呆理詰日記 1713」 2006/4/25

言えることがただ一つしかないならば、それを言わねばならない。
言わねばならないことがただ一つしかないならば、それを言ってはならない。

「阿呆理詰日記 1714」 2006/4/26

誰もが誰をも必ずしも愛せない、というのは、不幸なことだ。
そしてそれ以上に不幸なのは、それが不幸なことだという事実だ。

「阿呆理詰日記 1715」 2006/4/27

愛に殉じるのは、愛し続けるよりたやすい。
愛し続けるのは、愛を信じるよりずっとたやすい。

「阿呆理詰日記 1716」 2006/4/28

悩み多き人の身になって考えるとき理解してやるべきは、悩みがないと不安なんだなということ。
悩み深き人の身になって考えるとき理解してやるべきは、悩みが浅いと不快なんだなということ。

「阿呆理詰日記 1717」 2006/4/29

宇宙を法則によって理解することが求められている。
法則を宇宙によって理解することが乞い求められている。

「阿呆理詰日記 1718」 2006/4/30

愛は、人生すべてが遊戯でよいと保証する。
愛は、遊戯すべてが人生ではいけないと警告する。

「阿呆理詰日記1719」 2006/5/1

恋愛に関してのみ判断がくもる知者と、恋愛に関してのみ嗅覚が働く愚者とが、たぶん一番うまくいくだろう。

「阿呆理詰日記1720」 2006/5/2

神が存在するかどうか、という問題はまことにくだらんが、神のようなものが存在するかどうか、という問題は最高に重要である。

「阿呆理詰日記1721」 2006/5/3

趣味と論理のどちらに行き着くかは、美の問題。

←1712

「阿呆理詰日記1722」 2006/5/4

今われわれに一番利益をもたらすのは、利益とは何かという考えを変えることである。

「阿呆理詰日記1723」 2006/5/5

弱いからといって善だと思っちゃいけない。
弱みが善さの源だからといって。

「阿呆理詰日記1724」 2006/5/5

思い出と思い入れを混同するから、思いが出入りするばかりなのだ。

「阿呆理詰日記1725」 2006/5/7

思い出と思い出しを混同するから、思いが出ていくばかりなのだ。

「阿呆理詰日記1726」 2006/5/8

不安だってだけで希望があると思っちゃいけない。

不安あってこそその希望だからといって。

「阿呆理詰日記1727」 2006/5/9

人間を機械と見なせない人は、人間を自由と認めきることもできまい。

人間を物質と割り切れない人は、物質界に情緒を感じることもできまい。

「阿呆理詰日記1728」 2006/5/10

看板を掲げるのは大いに結構だが。

たいていの場合、自分にレッテルを貼ったにすぎないと自覚できれば。

「阿呆理詰日記1729」 2006/5/11

「誠実な男ってなんか魅力ない。私に対して誠実な彼氏でなきゃ困るけど」

「淫乱な女ってのは勘弁してくれ。俺にだけは淫乱な彼女であってほしいけど」

「阿呆理詰日記1730」 2006/5/12

安い物を願いながら、安っぽい物は願い下げ。そこが願いの安っぽさ。

「阿呆理詰日記1731」 2006/5/13

自らを酔わせることができない魂ほど、すぐ自らに酔っぱらう。

「阿呆理詰日記1732」 2006/5/14

性の自由を十分認めるためには、不自由な性でも十分だと認めること。

性の情緒を尊ぶには、情緒なき性をこそ尊ぶこと。

豊かな性を楽しむためには、商品としての性をも楽しむこと。

「阿呆理詰日記1733」 2006/5/15

深遠であればあるほど、軽薄の深さがわからなくなる。

高尚であればあるほど、低俗の高みが見通せなくなる。

「阿呆理詰日記1734」 2006/5/16

人間、自然なうちは自由にあらず。

自然はよいなんて自然に感じているようでは。自由はよいなんて自然に信じているようでは。

自然はよいなんて自由に思っているようでは。

「阿呆理詰日記1735」 2006/5/17

よい本を書くには、半年もあれば充分。

それまでに20年ほど努力しておりさえすれば。

「阿呆理詰日記1736」 2006/5/18

真に幸福になるには、どちらに向かって歩いてもOK。

それまでに30年ほど正しい方角に進んできていれば。

永久平和を達成する準備なんて、10年かければ完璧も完璧。

それまでに5000年ほど正しい歴史が刻まれてさえいれば。

「阿呆理詰日記1737」 2006/5/19

戦争に強い国民こそ、文化的にも道徳的にも優れた国民なり、と思ひ込んでる者が多いのはまったく嘆かわしい。

もっと嘆かわしいのは、その思ひ込みがまったく正しいという事実である。

「阿呆理詰日記1738」 2006/5/20

嘆かわしい、と感じる心が実はいちばん嘆かわしいのだという可能性は残るにせよ。

「阿呆理詰日記1739」 2006/5/21

大法螺は、たいてい、うまくいく。

信じられるからではない。

0.1%くらいなら真実を含んでる可能性ありと感じられるからである。

「阿呆理詰日記1740」 2006/5/22

興味本位が悪いんじゃないくて。興味もないのに興味本位、てのが悪いだけ。

「阿呆理詰日記1741」 2006/5/23

自らに酔えない魂ほど、自ら酔っぱらう。

自ら酔えない魂ほど、自ずと酔っぱらう。

「阿呆理詰日記1742」 2006/5/24

女性差別反対、と言うやつは、女性の現状を差別してるだけ。
女性差別撤廃、を喜ぶやつは、女性の過去を差別してるだけ。

「阿呆理詰日記1743」 2006/5/25

バルバロッサ、パールハーバー、アルデンヌ、赤軍満州侵攻、と学んできまして、私ったらごくごく重大な真理を悟ってしまいまして—「人間は、奇襲攻撃に弱い生き物である」。

「阿呆理詰日記1744」 2006/5/25

「現在は歴史上最も困難な時代である」……こういう明白な誤りが述べたてられているかぎり、現在は歴史上最も困難な時代である。

「阿呆理詰日記1745」 2006/5/27

戦争の真の恐ろしさは、尊い命が軽んじられること、ではない。
命は軽いこと、尊くないことがバレてしまうことである。

←1580

「阿呆理詰日記1746」 2006/5/28

人の命は軽い。
どのくらい軽い？ 人の命はみな平等、とただちに言えてしまうほどに。

「阿呆理詰日記1747」 2006/5/29

人の命は軽い。
どのくらい軽い？ 「人の命は重い」と軽く言えてしまうほどに。

「阿呆理詰日記1748」 2006/5/30

どんな状態であれ、改善の余地がなければ、それは最善である。
と感じられるようであれば、その人は最善の状態にある。

「阿呆理詰日記1749」 2006/5/31

神は、神々しさを実感できないだろう。
畏怖の念に共感できないだろう。